

# 徳島県における津波防災地域づくりについて

1

1. 徳島県における海岸堤防整備について
2. 徳島県における津波避難計画について
3. 徳島県における事前復興計画について

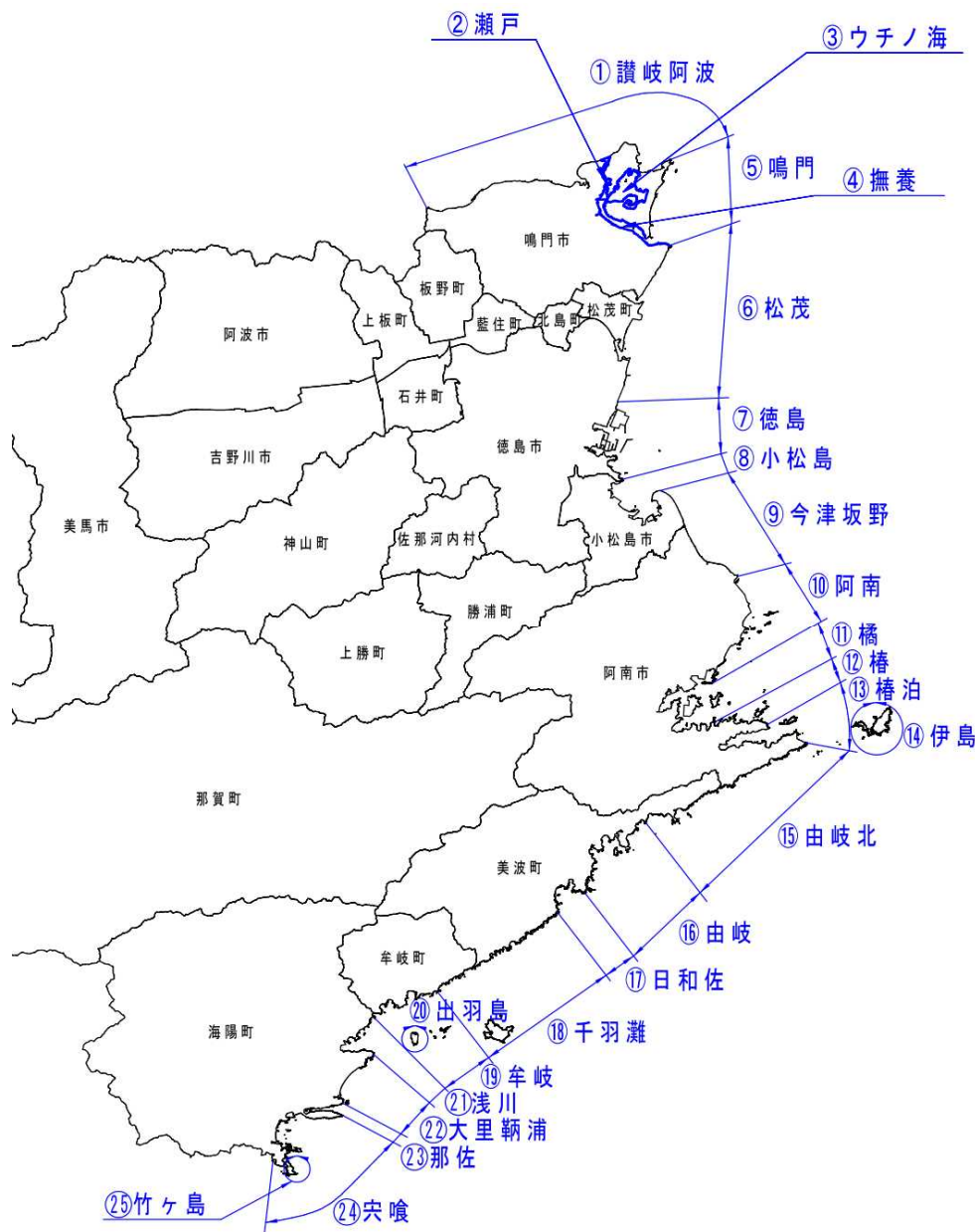
# (1) 地域海岸の設定

## 25の地域海岸に分割

地域海岸名	区 間
1 讃岐阿波	(香川県境) ~ (孫崎)
2 瀬戸	鳴門市瀬戸町北泊 ~ 鳴門市瀬戸町明神
3 ウチノ海	鳴門市瀬戸町堂ノ浦 ~ 鳴門市鳴門町土佐泊浦
4 撫養	鳴門市瀬戸町明神 ~ 鳴門市里浦町里浦
5 鳴門	(孫崎) ~ 鳴門市鳴門町土佐泊浦
6 松茂	鳴門市里浦町里浦 ~ (吉野川河口)
7 徳島	(吉野川河口) ~ 徳島市大原町小神子山
8 小松島	小松島市中田町東山 ~ 小松島市和田島町遠見
9 今津坂野	小松島市和田島町遠見 ~ (那賀川河口)
10 阿南	(那賀川河口) ~ 阿南市大湊町
11 橋	阿南市大湊町 ~ 阿南市椿町小杭
12 椿	阿南市椿町小杭 ~ 阿南市椿泊町東
13 椿泊	阿南市椿泊町東 ~ (蒲生田岬)
14 伊島	阿南市伊島町(伊島)
15 由岐北	(蒲生田岬) ~ 海部郡美波町阿部
16 由岐	海部郡美波町阿部 ~ 海部郡美波町恵比須浜
17 日和佐	海部郡美波町恵比須浜 ~ 海部郡美波町日和佐浦
18 千羽灘	海部郡美波町日和佐浦 ~ 海部郡牟岐町灘
19 牟岐	海部郡牟岐町灘 ~ 海部郡海陽町浅川
20 出羽島	海部郡牟岐町牟岐浦(出羽島)
21 浅川	海部郡海陽町浅川
22 大里鞆浦	海部郡海陽町浅川 ~ 海陽町鞆浦
23 那佐	海部郡海陽町鞆浦 ~ 海陽町穴喰浦
24 穴喰	海部郡海陽町穴喰浦 ~ (高知県境)
25 竹ヶ島	海部郡海陽町穴喰浦(竹ヶ島)



# (2) 設計津波の水位の設定



地域海岸名		設計津波					
		対象地震	設計津波の水位 ※1	高潮高	津波>高潮のチェック ※2	現況堤防高 ※3	最大クラスの津波高 ※4
1	讃岐阿波		2.0	4.7	高潮波浪	1.5 ~ 5.4	2.7
2	瀬戸		2.1	4.2	高潮波浪	0.8 ~ 4.3	
3	ウチノ海		2.0	3.2	高潮波浪	1.0 ~ 3.4	
4	撫養		2.9 (3.1)	4.2	高潮波浪	1.1 ~ 4.9	8.2
5	鳴門		2.9	5.4	高潮波浪	3.3 ~ 6.7	
6	松茂		3.8	5.7	高潮波浪	4.1 ~ 11.3	6.0
7	徳島		2.9	4.8	高潮波浪	3.7 ~ 6.3	6.2
8	小松島		3.6	4.5	高潮波浪	1.7 ~ 7.7	5.5
9	今津坂野		4.9	7.2	高潮波浪	3.0 ~ 7.9	5.1
10	阿南		4.1	5.9	高潮波浪	4.0 ~ 6.1	
11	橘		7.3 (6.5)	3.3	津波	1.9 ~ 4.6	11.9
12	椿		5.2	3.3	津波	2.0 ~ 3.7	
13	椿泊	中央防災会議 2003モデル (宝永地震タイプ)	4.8 (7.6)	3.4	津波	2.3 ~ 8.0	
14	伊島		2.8	7.4	高潮波浪	6.1 ~ 9.5	6.2
15	由岐北		5.9	7.2	高潮波浪	3.3 ~ 8.7	20.9
16	由岐		6.3 (7.3)	7.0	高潮波浪	2.1 ~ 8.1	12.3
17	日和佐		6.0 (5.2)	7.0	高潮波浪	1.3 ~ 9.2	9.8
18	千羽灘		4.3	5.2	高潮波浪	2.7 ~ 5.7	
19	牟岐		5.9	7.0	高潮波浪	1.7 ~ 7.0	13.4
20	出羽島		4.7	6.5	高潮波浪	4.4 ~ 7.6	
21	浅川		6.0 (5.0)	2.9	津波	1.2 ~ 7.2	10.5
22	大里鞆浦		4.5	9.9	高潮波浪	1.7 ~ 10.0	8.1
23	那佐		5.6 (4.3)	5.4	津波・高潮	1.2 ~ 5.4	
24	穴喰		10.3 (13.1)	7.8	津波	1.4 ~ 8.5	18.4
25	竹ヶ島		8.6	3.3	津波	1.7 ~ 9.0	

※1 少数第2位で切り上げて設定。( )は地域海岸内に細分して設定した区間の設計津波の水位。  
 ※2 堤防等の計画にあたっては、「高潮・波浪に必要な高さ」と「設計津波の水位」の両方を検討する必要がある。  
 ※3 一つの地域海岸には、複数の海岸保全区域があり、海岸の利用状況や整備水準が異なるため、現況堤防高に幅がある。  
 現況堤防高は、地震による沈下を見込んでいない。(少数第2位を四捨五入)  
 ※4 H24.10.31「徳島県津波浸水想定」の公表値。

## (3) 海岸堤防整備の進め方

- 「設計津波の水位」は、海岸保全施設の整備を行う上での根拠。
- 海岸管理者が地元市町と協議し、段階的な対策を行う。

### ①「避難時間の確保に必要な高さ」に対する整備

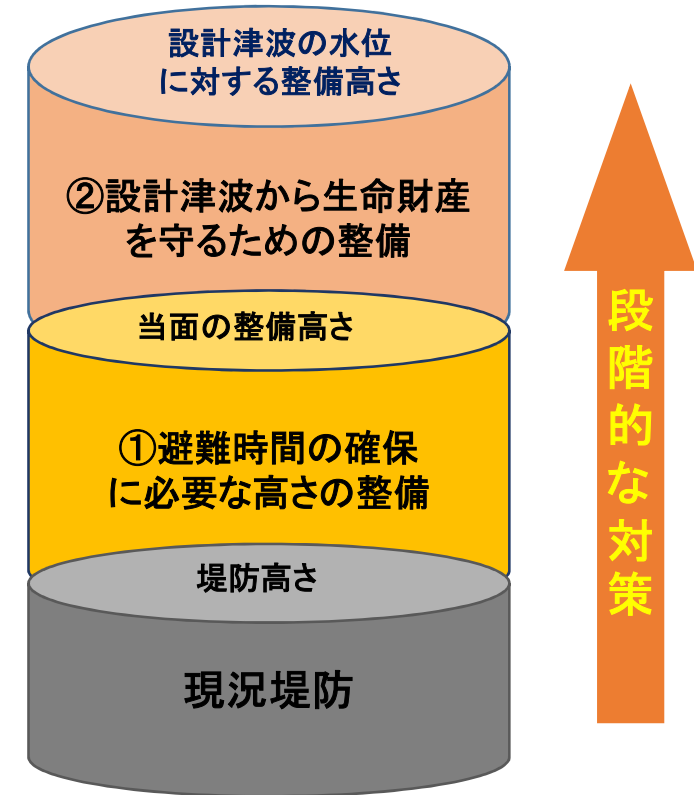
- ・現況堤防高で「避難時間の確保に必要な高さ」が不足するところは、施設の嵩上げの対策を進める。
- ・現況堤防高で「避難時間の確保に必要な高さ」を満足する施設においては地盤沈下に対し、液状化対策等を進める。

### ②「設計津波の水位」に対する整備

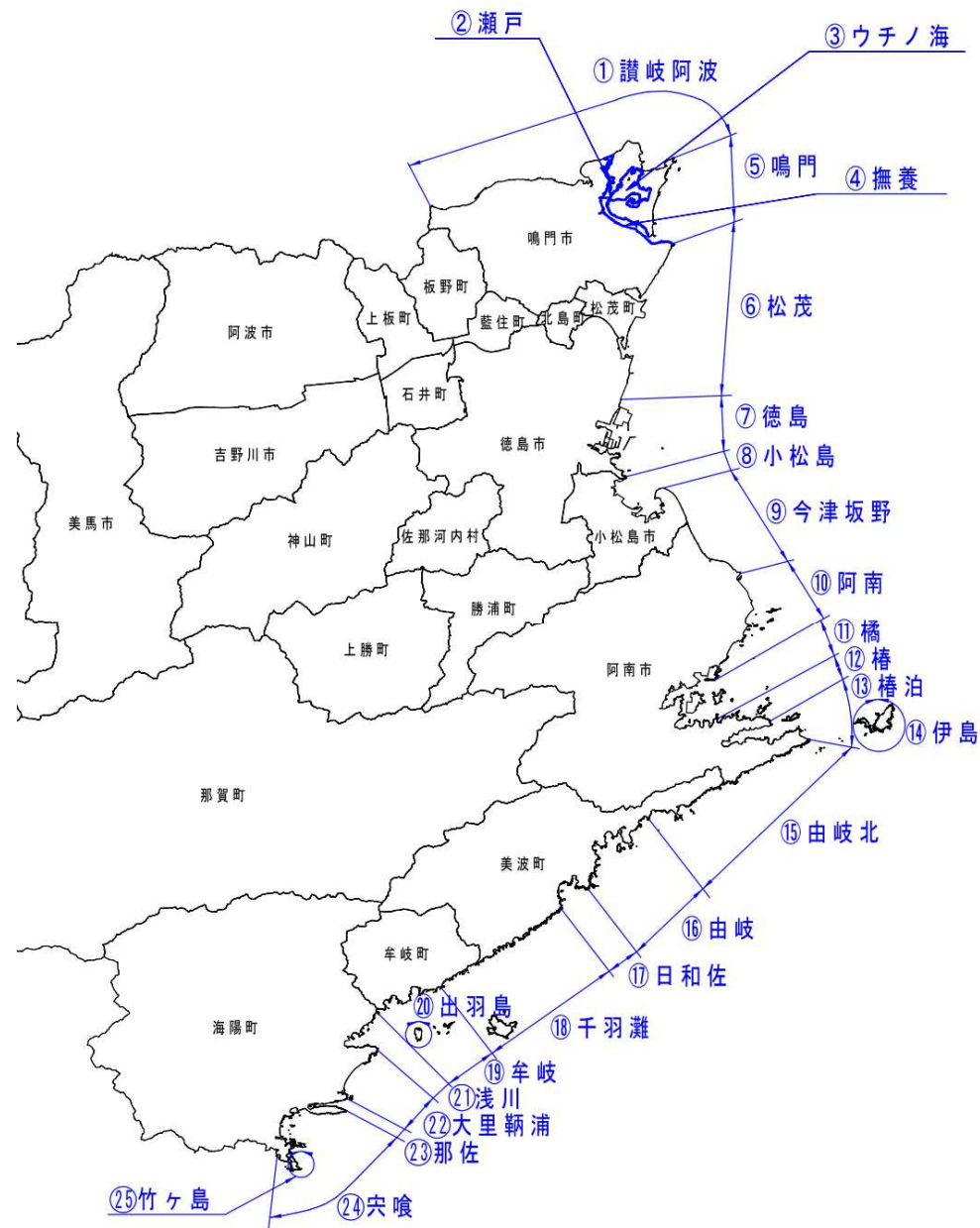
- ・設計津波から生命・財産を守るための施設整備は、管理者と地元市町が協議し、様々な工夫をしながら対策を講じる。

#### <配慮事項>

- ・環境保全 ・周辺景観との調和 ・施工性 ・地域の特性 ・既設防護施設の状況
- ・維持管理の容易性 ・住民の意向 ・経済性 ・公衆の利用



# (4) 避難時間を確保するための高さ



地域海岸名		設計津波		高潮高	津波>高潮 のチェック ※2	現況堤防高 ※3	最大クラス の津波高 ※4	
		対象地震	設計津波 の水位 ※1					避難時間を 確保する ための高さ
1	讃岐阿波		2.0	1.1	4.7	高潮波浪	1.5 ~ 5.4	2.7
2	瀬戸		2.1	1.1	4.2	高潮波浪	0.8 ~ 4.3	
3	ウチノ海		2.0	1.1	3.2	高潮波浪	1.0 ~ 3.4	
4	撫養		2.9 (3.1)	1.0	4.2	高潮波浪	1.1 ~ 4.9	8.2
5	鳴門		2.9	0.9	5.4	高潮波浪	3.3 ~ 6.7	
6	松茂		3.8	0.9	5.7	高潮波浪	4.1 ~ 11.3	6.0
7	徳島		2.9	0.9	4.8	高潮波浪	3.7 ~ 6.3	6.2
8	小松島		3.6	0.9	4.5	高潮波浪	1.7 ~ 7.7	5.5
9	今津坂野		4.9	1.7	7.2	高潮波浪	3.0 ~ 7.9	5.1
10	阿南		4.1	2.8	5.9	高潮波浪	4.0 ~ 6.1	
11	橋		7.3 (6.5)	3.2	3.3	津波	1.9 ~ 4.6	11.9
12	椿		5.2	2.8	3.3	津波	2.0 ~ 3.7	
13	椿泊	中央防災会議 2003モデル (宝永地震タイプ)	4.8 (7.6)	3.5	3.4	津波	2.3 ~ 8.0	
14	伊島		2.8	2.5	7.4	高潮波浪	6.1 ~ 9.5	6.2
15	由岐北		5.9	5.6	7.2	高潮波浪	3.3 ~ 8.7	20.9
16	由岐		6.3 (7.3)	5.3	7.0	高潮波浪	2.1 ~ 8.1	12.3
17	日和佐		6.0 (5.2)	4.9	7.0	高潮波浪	1.3 ~ 9.2	9.8
18	千羽灘		4.3	4.0	5.2	高潮波浪	2.7 ~ 5.7	
19	牟岐		5.9	4.4	7.0	高潮波浪	1.7 ~ 7.0	13.4
20	出羽島		4.7	3.3	6.5	高潮波浪	4.4 ~ 7.6	
21	浅川		6.0 (5.0)	4.3	2.9	津波	1.2 ~ 7.2	10.5
22	大里鞆浦		4.5	4.5	9.9	高潮波浪	1.7 ~ 10.0	8.1
23	那佐		5.6 (4.3)	3.6	5.4	津波・高潮	1.2 ~ 5.4	
24	穴喰		10.3 (13.1)	5.7	7.8	津波	1.4 ~ 8.5	18.4
25	竹ヶ島		8.6	4.2	3.3	津波	1.7 ~ 9.0	

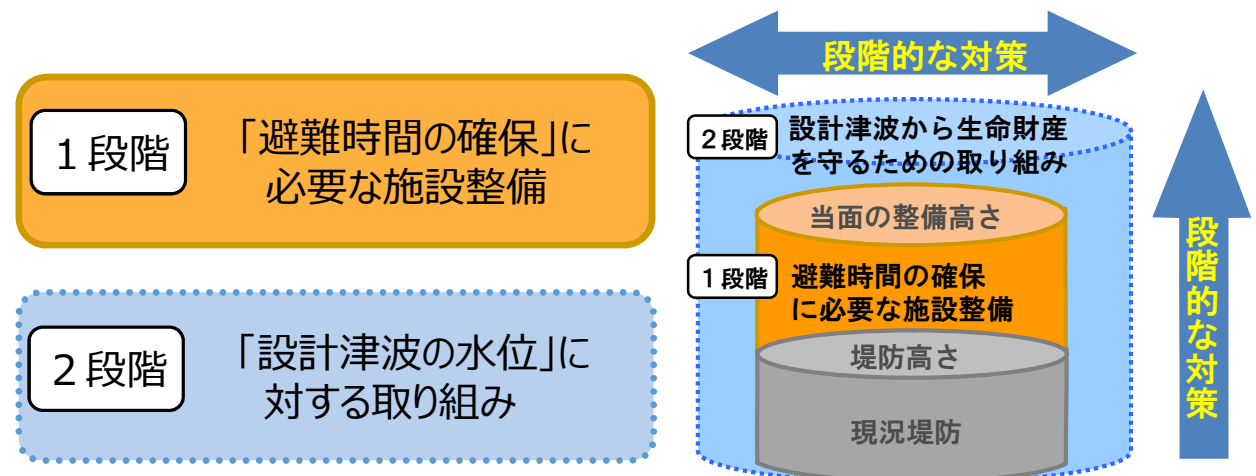
※1 少数第2位で切り上げて設定。( )は地域海岸内に細分して設定した区間の設計津波の水位。  
 ※2 堤防等の計画にあたっては、「高潮・波浪に必要な高さ」と「設計津波の水位」の両方を検討する必要がある。  
 ※3 一つの地域海岸には、複数の海岸保全区域があり、海岸の利用状況や整備水準が異なるため、現況堤防高に幅がある。  
 現況堤防高は、地震による沈下を見込んでいない。(少数第2位を四捨五入)  
 ※4 H24.10.31「徳島県津波浸水想定」の公表値。

# (5) H26海岸保全基本計画の改定

- 背後に幹線道路や集落が形成されている海岸では、台風に伴う高潮や波浪に対する安全性の向上に努める。
- 侵食が進んでいる海岸では、砂浜の保全・回復に努める。また、河川の上流から海岸までの総合的な土砂管理に向け、海岸管理者と河川、ダム又は砂防施設の管理者との連携を図る。
- 地震・津波に対しては、住民や海岸利用者の生命を守ることを最優先とし、ハード・ソフト両面から防災対策を推進する。
- 海岸保全施設の整備にあたっては、一面的な防護の機能だけではなく、自然環境の保全や海岸利用にも配慮しながら安全性の強化を図る。
- 海岸保全施設については、老朽化対策を行うとともに、予防保全の考え方に基づく適切な維持管理に努める。
- 水門、陸閘等の効果的な管理運用体制の確保に努めるとともに、津波等の異常気象発生時に水門、陸閘等の開口部を迅速に閉鎖させるため、統廃合や常時閉鎖、自動化・遠隔操作化を推進する。

## 段階的な地震・津波対策

「設計津波（L1津波）の水位」に対して段階的な対策を行うこととし、まずは、住民の生命を守ることを最優先に「避難時間の確保」に必要な施設整備を進める。



# (6) 海岸保全施設の整備の方向性

今後20～30年間に整備着手すべき(優先度ランクⅠ)  
**津波39海岸, 高潮2海岸, 侵食2海岸 計43海岸抽出**



### 海岸一覧表

讃岐阿波沿岸													
No	海岸名	所管	関係市町村	優先度ランク	海岸タイプ	導入事業	No	海岸名	所管	関係市町村	優先度ランク	海岸タイプ	導入事業
1	碓の浦漁港海岸	農水(水産)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	12-2	日出漁港海岸(小海地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---
2	大浦地先海岸	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	13	小浦地先海岸	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---
3-1	折野漁港海岸(大浦地区)	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	14-1	瀬戸漁港海岸(大島田地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---
3-2	折野漁港海岸(北瀬中地区)	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	津波、高潮、侵食	14-2	瀬戸漁港海岸(堂浦北治第2地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---
3-3	折野漁港海岸(折野中地区)	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	14-3	瀬戸漁港海岸(堂浦北治第1地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---
3-4	折野漁港海岸(折野東地区)	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	14-4	瀬戸漁港海岸(堂浦地蔵地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---
4	三津漁港海岸	農水(水産)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	14-5	瀬戸漁港海岸(同地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	津波、高潮
5	海々地先海岸	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	14-6	瀬戸漁港海岸(原庄中島地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---
6-1	大浦漁港海岸(島ヶ丸地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	14-7	瀬戸漁港海岸(堂の河原庄地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---
6-2	大浦漁港海岸(大浦地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	15-1	室漁港海岸(田ノ浦地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---
7	大浦地先海岸	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	15-2	室漁港海岸(在所谷地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---
8	粟田地先海岸	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	16	橋清漁港海岸(福池地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---
9	基田漁港海岸	農水(水産)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	高潮	17	高島地先海岸	国土(港湾)	鳴門市	Ⅱ	利用促進	---
10	樺木地先海岸	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	18	三ツ石地区海岸	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	利用促進	---
11-1	樺木漁港海岸(東山地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---	19	三ツ石地区海岸	国土(港湾)	鳴門市	Ⅱ	利用促進	---
11-2	樺木漁港海岸(西山地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---	20	鳴門海岸(横山地区)	農水(農林)	鳴門市	Ⅰ	利用促進	---
12-1	日出漁港海岸(日出地区)	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---	21	堂の浦地先海岸	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---

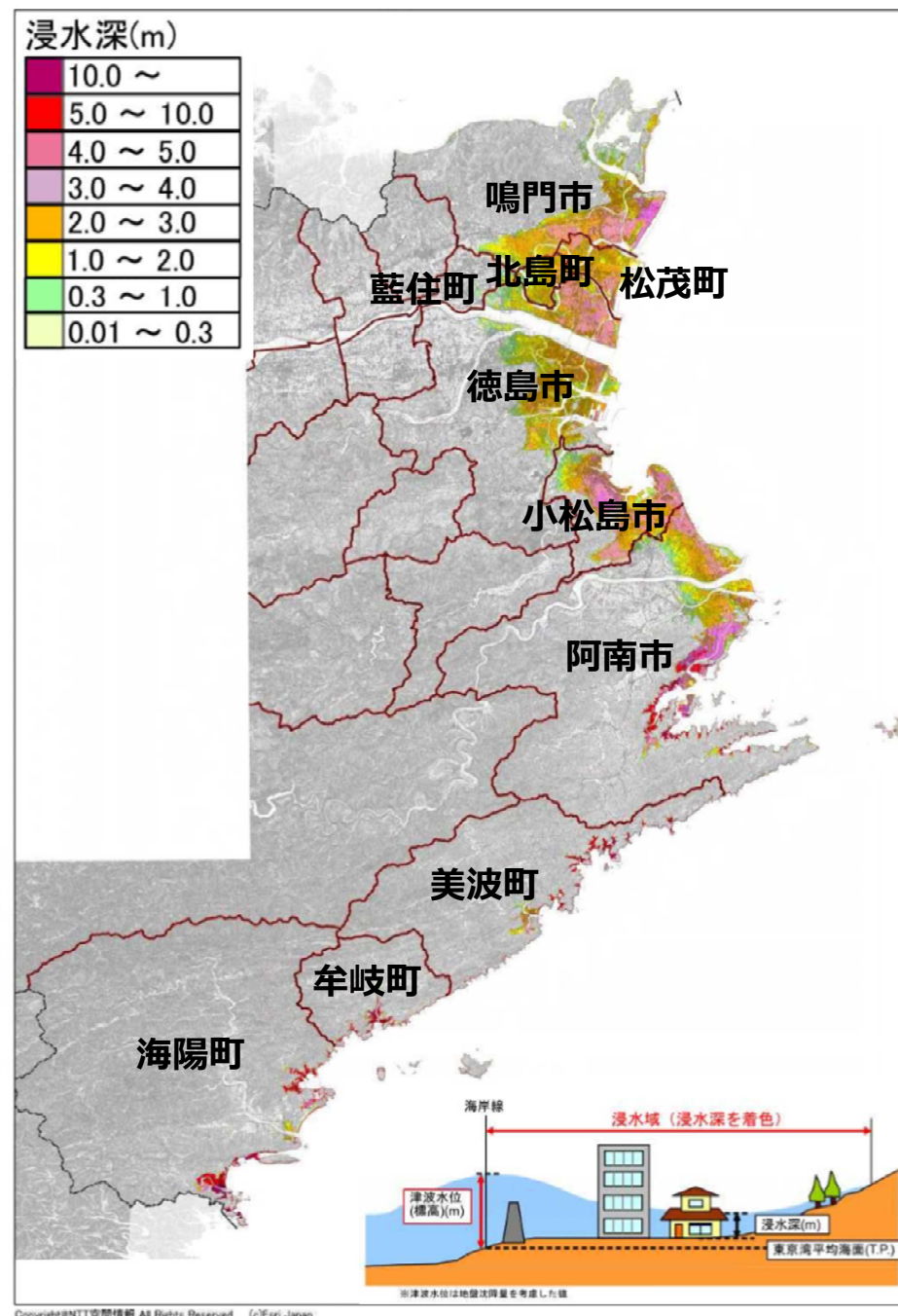
紀伊水道西沿岸													
No	海岸名	所管	関係市町村	優先度ランク	海岸タイプ	導入事業	No	海岸名	所管	関係市町村	優先度ランク	海岸タイプ	導入事業
22-1	撫養港海岸(高島地区)	国土(港湾)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---	38	豊島林地区海岸	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
22-2A	撫養港海岸(桑島瀬戸地区)	国土(港湾)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---	39-1	大瀧漁港海岸(柏大平地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
22-2B	撫養港海岸(桑島瀬戸地区)	国土(港湾)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	津波、高潮	39-2	大瀧漁港海岸(柏大平地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	津波、高潮
22-3	撫養港海岸(土佐泊地区)	国土(港湾)	鳴門市	Ⅱ	利用促進	---	39-3	大瀧漁港海岸(大瀧地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	津波、高潮
22-4A	撫養港海岸(岡崎里浦地区)	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	利用促進	津波、高潮	40-1	橋津海岸(橋東地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
22-4B	撫養港海岸(岡崎里浦地区)	国土(港湾)	鳴門市	Ⅰ	環境重視	---	40-2	橋津海岸(橋西地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	防護	津波、高潮
23	土佐泊漁港海岸	農水(水産)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---	40-3	橋津海岸(橋東地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	防護	津波、高潮
24	福池地先海岸	国土(港湾)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---	40-4	橋津海岸(神保西地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
25	鳴門地先海岸	国土(港湾)	鳴門市	Ⅱ	利用促進	---	40-5	橋津海岸(神保東地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
26-1	粟津港海岸(粟津地区)	国土(港湾)	鳴門市	Ⅱ	環境重視	---	40-6	橋津海岸(橋地地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅱ	環境重視	---
26-2	粟津港海岸(松茂地区)	国土(港湾)	松茂町	Ⅱ	利用促進	---	40-7	橋津海岸(高島地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
27	松茂地区海岸	国土(港湾)	松茂町	Ⅱ	利用促進	---	40-8	橋津海岸(高島地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
28-1	今切港海岸(長原地区)	国土(港湾)	松茂町	Ⅱ	環境重視	---	40-9	橋津海岸(橋ノ浦地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
28-2	今切港海岸(川内地区)	国土(港湾)	徳島市	Ⅱ	環境重視	---	41-1	後戸漁港海岸(浜田地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
29	小松地先海岸	国土(港湾)	徳島市	Ⅱ	環境重視	---	41-2	後戸漁港海岸(見見地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	津波、高潮
30-1	徳島小松島港海岸(沖洲地区)	国土(港湾)	徳島市	Ⅰ	環境重視	津波、高潮	42	小松漁港海岸	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
30-2	徳島小松島港海岸(津田地区)	国土(港湾)	徳島市	Ⅱ	防護	---	43-1	曲波海岸(小曲地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
30-3	徳島小松島港海岸(大獅子地区)	国土(港湾)	徳島市	Ⅱ	環境重視	---	43-2	曲波海岸(大曲地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
30-4	徳島小松島港海岸(港口地区)	国土(港湾)	小松島町	Ⅰ	防護	津波、高潮	44	西大江地先海岸	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
30-5	徳島小松島港海岸(環瀬金地区)	国土(港湾)	小松島町	Ⅱ	利用促進	---	45	大江地先海岸	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
30-6	徳島小松島港海岸(赤石野地区)	国土(港湾)	小松島町	Ⅱ	防護	---	46	那波江地先海岸	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	利用促進	---
30-7	徳島小松島港海岸(和田島地区)	国土(港湾)	小松島町	Ⅱ	防護	---	47-1	梅泊漁港海岸(梅泊地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	津波、高潮
31	折野地区海岸	国土(港湾)	小松島町	Ⅱ	環境重視	侵食	47-2	梅泊漁港海岸(勢津地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	津波、高潮
32	今津地区海岸	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	防護	侵食	47-3	梅泊漁港海岸(梅川地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	津波、高潮
33	今津漁港海岸	農水(水産)	阿南市	Ⅱ	防護	---	47-4	梅泊漁港海岸(高瀬地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
34	那波川海岸(那波川左岸地区)	農水(農林)	阿南市	Ⅰ	利用促進	津波、高潮	48	小島地先海岸	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
35	中島漁港海岸(中島地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	利用促進	津波、高潮	49	尻地先海岸	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	環境重視	---
36-1	富岡海岸(富岡地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	防護	津波、高潮	50	高島地先海岸	国土(港湾)	阿南市	Ⅰ	利用促進	---
36-2	富岡海岸(豊ヶ谷地区)	国土(港湾)	阿南市	Ⅱ	利用促進	---	51	湊生田地先海岸	国土(港湾)	阿南市	Ⅱ	環境重視	---
37-1	中林漁港海岸(中林地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅱ	利用促進	---	52	伊島漁港海岸	国土(港湾)	阿南市	Ⅱ	利用促進	---
37-2	中林漁港海岸(北ノ島地区)	農水(水産)	阿南市	Ⅱ	利用促進	---	53	伊島海岸(伊島地区)	農水(農林)	阿南市	Ⅱ	環境重視	---

海部灘沿岸													
No	海岸名	所管	関係市町村	優先度ランク	海岸タイプ	導入事業	No	海岸名	所管	関係市町村	優先度ランク	海岸タイプ	導入事業
64	伊予利漁港海岸	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---	66A	出羽島地先海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---
55-1	由岐漁港海岸(阿部地区)	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮	66B	出羽島地先海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---
55-2	由岐漁港海岸(京和峠地区)	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮	67A	内粟地区海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---
55-3	由岐漁港海岸(由甲地区)	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮	67B	内粟地区海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---
55-4	由岐漁港海岸(由井地区)	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮	67C	内粟地区海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---
55-5	由岐漁港海岸(水崎地区)	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮	67D	内粟地区海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---
55-6	由岐漁港海岸(梅郷地区)	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮	68-1	浅川漁港海岸(鎌瀬地区)	国土(港湾)	海陽町	Ⅰ	環境重視	---
55-7	由岐漁港海岸(水浜地区)	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮	68-2	浅川漁港海岸(大砂地区)	国土(港湾)	海陽町	Ⅰ	環境重視	---
56	大井地先海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---	68-3	浅川漁港海岸(加島地区)	国土(港湾)	海陽町	Ⅱ	環境重視	---
57	山産地先海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---	68-4	浅川漁港海岸(粟ノ浦地区)	国土(港湾)	海陽町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮
58-1	日伯佐漁港海岸(東比須地区)	国土(港湾)	牟岐町	Ⅱ	環境重視	---	68-5	浅川漁港海岸(浅川地区)	国土(港湾)	海陽町	Ⅰ	環境重視	---
58-2	日伯佐漁港海岸(大浦地区)	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮	68-6	浅川漁港海岸(海老ヶ池地区)	国土(港湾)	海陽町	Ⅰ	環境重視	---
59-1	日伯佐漁港海岸(津田地区)	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮	69	海々ヶ谷地区海岸	国土(港湾)	海陽町	Ⅰ	環境重視	---
59-4	日伯佐漁港海岸(中野地区)	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	防護	津波、高潮	70	松原地先海岸	国土(港湾)	海陽町	Ⅰ	環境重視	---
59	恵比須漁港海岸	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	利用促進	津波、高潮	71	新島漁港海岸	農水(水産)	海陽町	Ⅰ	防護	津波、高潮
60	外牟井地先海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---	72	那佐漁港海岸(那佐地区)	農水(水産)	海陽町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮
61	明丸地先海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---	73-1	安岡海岸(那佐地区)	国土(港湾)	海陽町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮
62A	浜辺地先海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---	73-2	安岡海岸(安岡地区)	国土(港湾)	海陽町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮
62B	浜辺地先海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅰ	環境重視	---	73-3	安岡海岸(竹ノ島地区)	農水(農林)	海陽町	Ⅰ	環境重視	津波、高潮
63-1	牟岐漁港海岸(古牟岐地区)	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	防護	津波、高潮	74	安岡漁港海岸	農水(水産)	海陽町	Ⅰ	防護	津波、高潮
63-2	牟岐漁港海岸(福ノ浦地区)	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	防護	津波、高潮	75	竹ヶ島地先海岸	国土(港湾)	海陽町	Ⅱ	環境重視	---
63-3	牟岐漁港海岸(大戸地区)	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	防護	津波、高潮	76A	全日地先海岸	国土(港湾)	海陽町	Ⅱ	環境重視	---
64	馬地地先海岸	国土(港湾)	牟岐町	Ⅱ	環境重視	---	76B	全日地先海岸	国土(港湾)	海陽町	Ⅱ	環境重視	---
65	出羽島漁港海岸	農水(水産)	牟岐町	Ⅰ	防護	津波、高潮	77	竹ヶ島漁港海岸	農水(水産)	海陽町	Ⅰ	防護	津波、高潮

# (1) 市町村津波避難計画の策定に関するガイドライン

- 津波による人的被害を軽減し、「助かる命を助ける」ため、市町村における対策の見直しや、津波避難計画の策定を支援するためガイドラインを作成。
- 目次
  - ① 東日本大震災を踏まえた本県の津波対策に関する検討
  - ② 津波避難計画の策定に関するガイドラインの位置づけ
  - ③ 用語の意味
  - ④ 徳島県津波浸水想定
  - ⑤ 津波避難計画を策定する必要がある市町村（沿岸全市町）
  - ⑥ 津波避難計画で定める範囲
  - ⑦ 市町村津波避難計画において定める事項とその策定手順

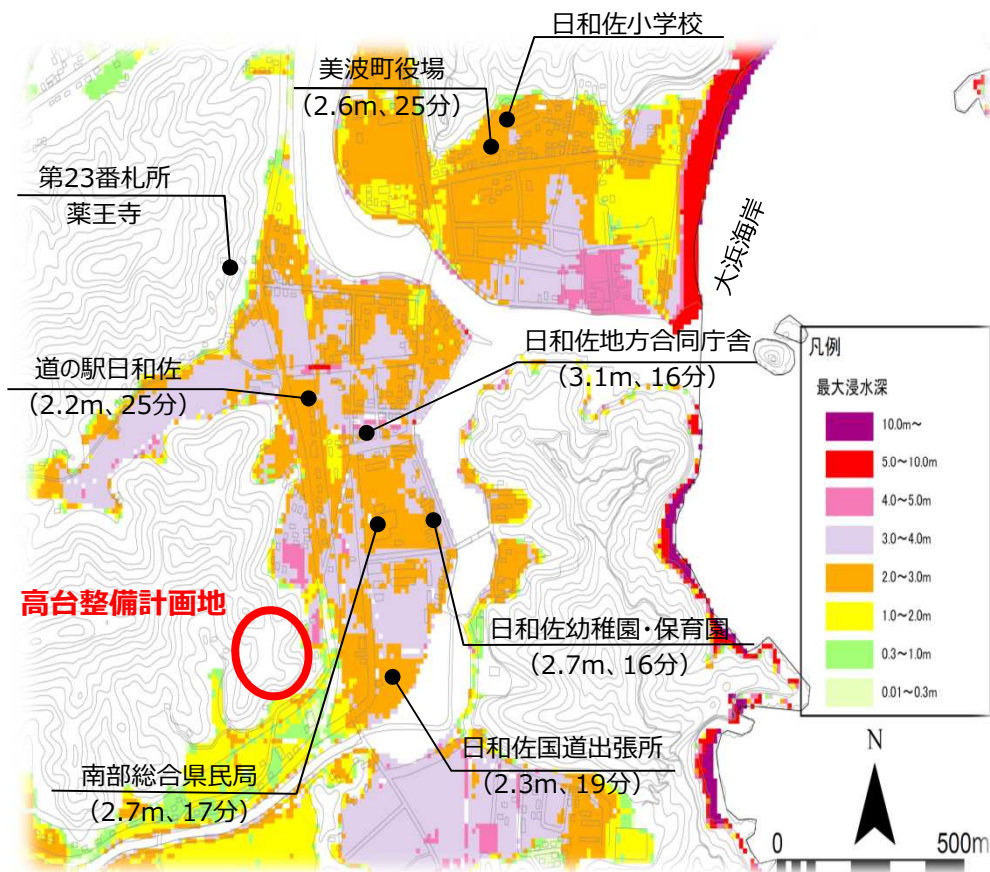






## (2) 日和佐地区高台整備

- 美波町日和佐地区では、災害時の活動の拠点となるべき公共施設や日和佐こども園といった要配慮者施設をはじめ、多くの住民の生活の場が津波浸水想定区域となってるため、安全・安心・持続可能なまちづくりに向け、町が高台整備を行う計画を策定。



## (3) 住民等が主体となった事前復興計画づくり

- 美波町の2地区では、それぞれ地元住民や漁業協同組合が主体となり学識経験者を巻き込んで事前復興計画を検討。

### 【伊座利地区（美波町）】

なにもないけど、なにかある！  
人口10万人のむらを目指す  
たかが100人、されど100人のむらづくり物語  
(漁村集落版事前復興アクションプラン)

伊座利の未来を考える推進協議会※が  
平成27年に策定（以降、2度改訂）

※自主的・独創的な交流・移住・定住促進活動を実施するため、平成12年に結成。子供から老人まで、全住民で構成

- 人口減少のもと持続可能な漁村集落を目指すため、日常生活の延長上の防災という姿勢
- 住民全員で問題意識を共有することを重視
- 東日本大震災の復興交付金事業等を参考に、地域の主体的な取組と行政等に期待する取組に分類して時間軸で復興シナリオを整理
- 東京大学生産技術研究所（加藤孝明委員）が協力

### 【由岐湾内地区（美波町）】

ごっつい由岐の未来づくり計画

3地区の自主防災組織が連携して平成28年に策定

- 就職や進学、結婚等を機に津波リスクの無い地域に転出する、「震災前過疎」が起こり始めたことに対する危機感から取組みを開始
- 災害が起こる前から地域の持続性や豊かさ、住民の幸福度を向上させることを目標
- 震災前から宅地等として利用できる高台を準備し、事前の移転を可能とする「高台展開」
- 安全な高台に若者世帯のモデル住宅を計画する、住宅・住宅地コンペティションを実施
- 徳島大学地域創生センターが協力

# 補足資料

# 津波対策の考え方

## 最大クラスの津波 (L2津波) 平成24年10月31日公表

### ○津波レベル

発生頻度は極めて低い。  
発生すれば甚大な被害をもたらす。

### ○対策の基本的な考え方 (減災)

住民等の生命を守ることを最優先とし、住民避難を軸としたソフト・ハードのとりうる手段を  
尽くした総合的な対策。

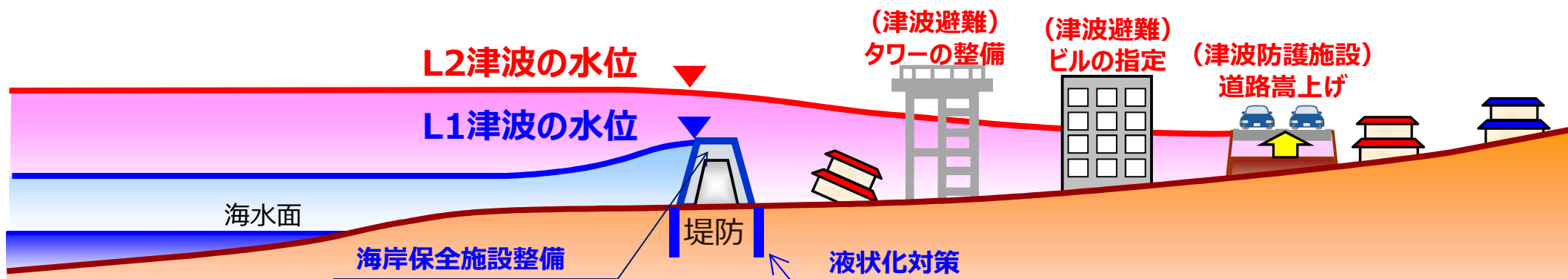
## 比較的発生頻度の高い津波 (L1津波 = 設計津波) 平成25年3月29日公表

### ○津波レベル

数十年から百数十年の頻度で発生する。  
最大クラスの津波に比べて、  
津波高は低いものの大きな被害をもたらす。

### ○対策の基本的な考え方 (防災)

人命・財産の保護、地域経済の確保の観点から、  
海岸施設等を整備。



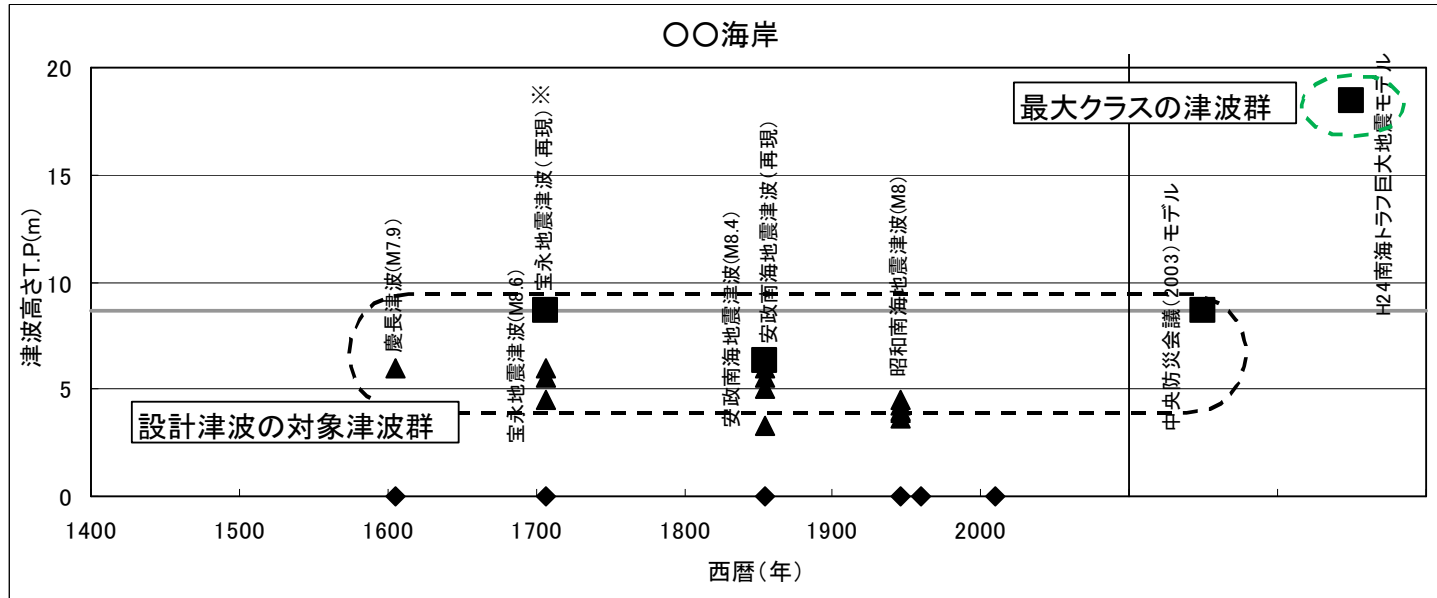
### 津波対策

L1津波：施設整備（液状化対策、海岸保全施設整備等）

L2津波：率先避難の啓発（津波防災教育、自主防災組織との連携等）  
避難施設（津波避難タワーの整備、津波避難ビルの指定等）  
津波防護施設の指定（道路嵩上げ等）

# 設計津波の対象津波群の設定

## 設計津波に用いる対象津波群の設定例



※ 宝永地震津波（再現）については、中央防災会議(2003)津波断層モデルを使用。

- ① 地域海岸内で背後に保全対象のある区間における、過去に襲来した津波の痕跡津波高さ及び歴史津波の再現シミュレーションの値をグラフに整理し、二つの津波群に分類。
- ② 約百年から百数十年の頻度で発生している「設計津波の対象津波群」の中で、最も津波高の高い津波を設計津波に用いる対象津波に設定。

■ 「比較的発生頻度の高い津波群」として整理した既往津波の痕跡及び再現シミュレーションの津波高で最も高い津波高は、全ての地域海岸において、中央防災会議（2003）公表モデルの津波高であった。

「設計津波の水位」の設定には、  
中央防災会議(2003)モデル（宝永地震津波タイプ）と  
安政地震津波を検討した。

※ 今回の中央防災会議（2003）公表モデルによる津波シミュレーションは、平成16年度の徳島県津波浸水予測の津波シミュレーションと同じ津波断層モデルに、最新の地形データを用い、より詳細な計算結果を得るため、計算格子間隔（メッシュサイズ）を20m×20mから10m×10mに変更した上で実施したもの。

# 設計津波の水位の設定①

## 津波シミュレーションの条件

### ○ 初期潮位

- ・最近5年間の朔望平均満潮位を採用。

単位:T. P(m)

沿岸名	対象観測所	採用値
讃岐阿波沿岸	三本松港観測所	1.026
紀伊水道西沿岸	気象庁 小松島	0.876
海部灘沿岸	気象庁 阿波由岐	0.917

### ○ 海岸地形

- ・2012年に内閣府(南海トラフの巨大地震モデル検討会)が公表した津波解析データを最新の地形に更新。
- ・地盤変動については地震に伴う海底地盤の隆起・沈降を反映。

内閣府提供データ

更新

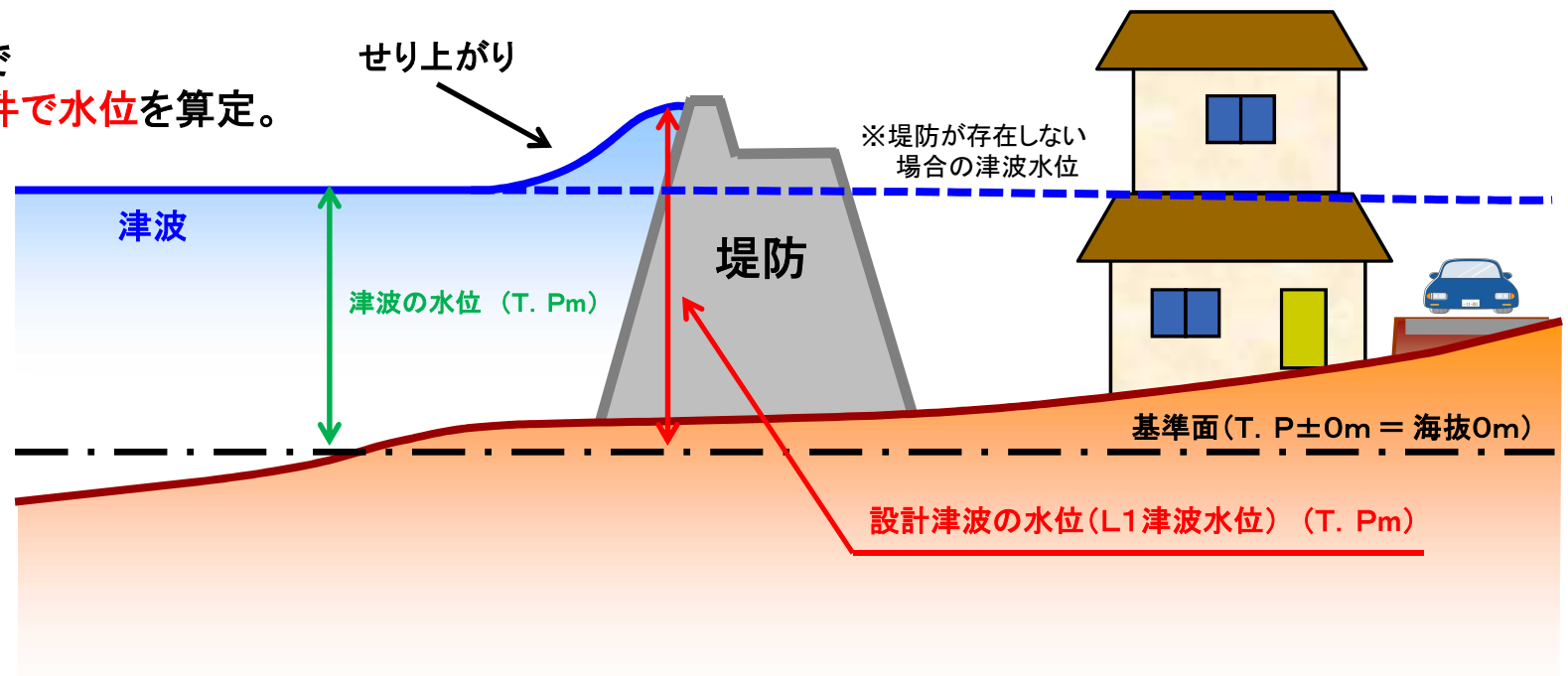
徳島県

…県管理港湾等の等深線, 深浅測量成果

※最大クラスの津波(L2津波)の津波浸水想定(H24.10.31公表)と同じ地形。

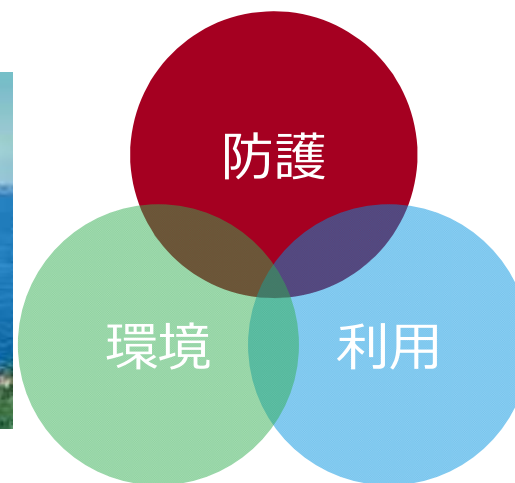
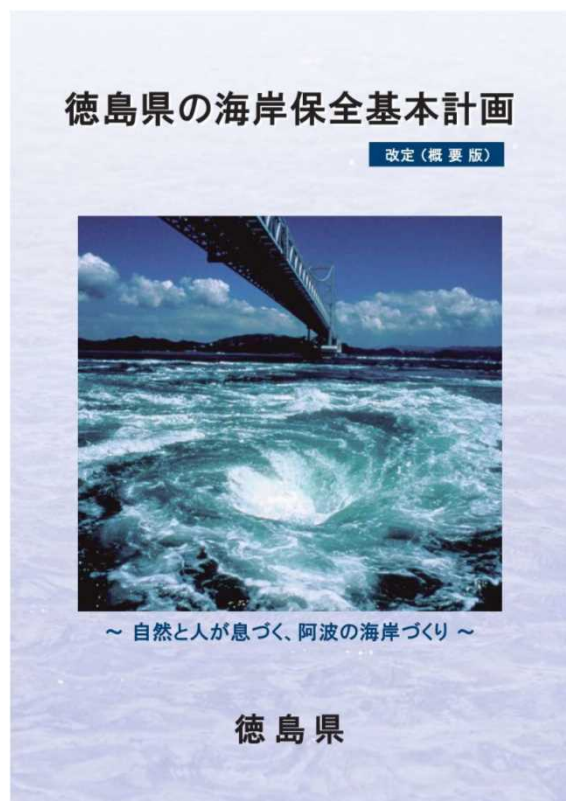
### ○ 沿岸構造物

- ・防潮堤、河川堤防等で津波が浸入しない条件で水位を算定。



# 海岸保全基本計画の改定

- 海岸保全基本計画とは、海岸法の改正（平成11年）に伴い、「美しく、安全で、いきいきとした海岸」の継承を基本理念とする国の定めた「海岸保全基本指針」に基づいて都道府県が作成する計画で、地域の意見等を反映して作成するものです。
- 徳島県では平成26年3月に「讃岐阿波」「紀伊水道西」「海部灘」の3沿岸の海岸保全基本計画を改定し、“防護”“環境”“利用”に配慮した海岸の保全に取り組んでいます。





# 優先度の考え方

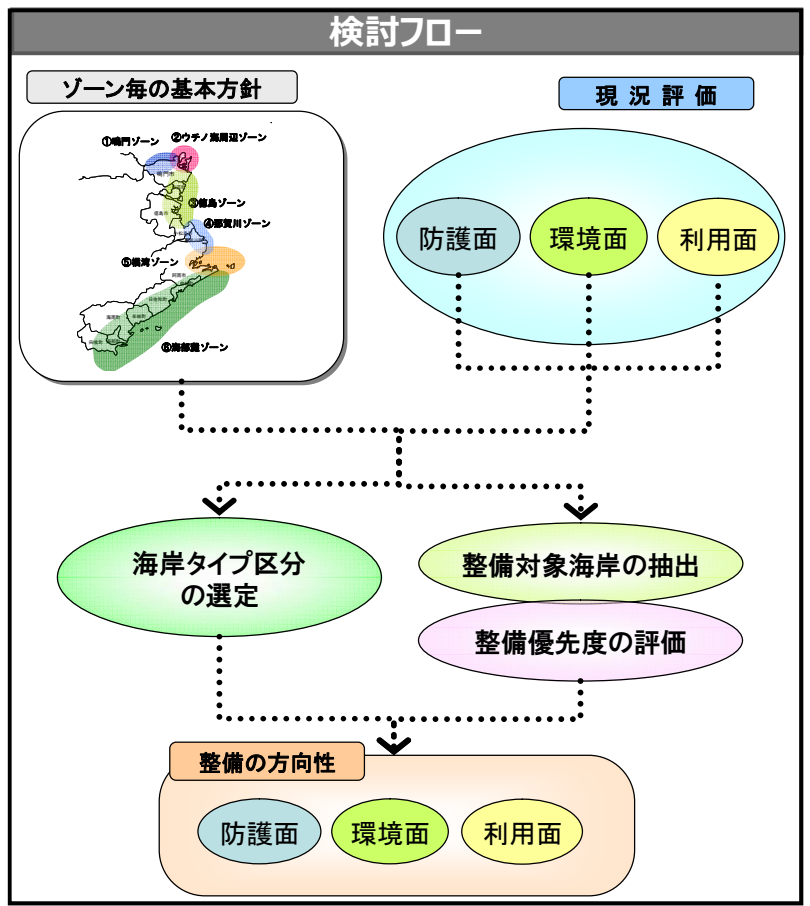
- 徳島県内 136地区海岸
- 防護・環境・利用面から現況を評価
- 各ゾーンの基本方針



- 海岸タイプの選定と整備対象海岸を抽出する。
- 整備対象海岸については、防護面における緊急度・重要度（国土保全）を優先に「津波対策」・「高潮対策」・「侵食対策」の必要性や「背後地の重要度」から整備の優先度を2段階に区分する。
- 整備対象海岸のうち、対象期間内（今後20年から30年間）に着手する海岸を**優先度ランクI**とする。

## ※ 優先度ランク区分の考え方

I	①津波、高潮、侵食の項目にAが1つ以上、かつ背後地の項目が A, B
II	①津波、高潮、侵食の項目にAが1つ以上、かつ背後地の項目が C ②津波、高潮、侵食の項目にBが1つ以上、かつ背後地の項目が A~C



## (整備優先項目)

防護面		
津波	高潮	侵食
A	A	A
B	B	B
C	C	C



防護面 背後地
A
B
C
D



優先度 ランク	考え方
I	今後20年から30年間に事業に着手すべき海岸
II	長期的に事業に着手すべき海岸

## (整備配慮項目)

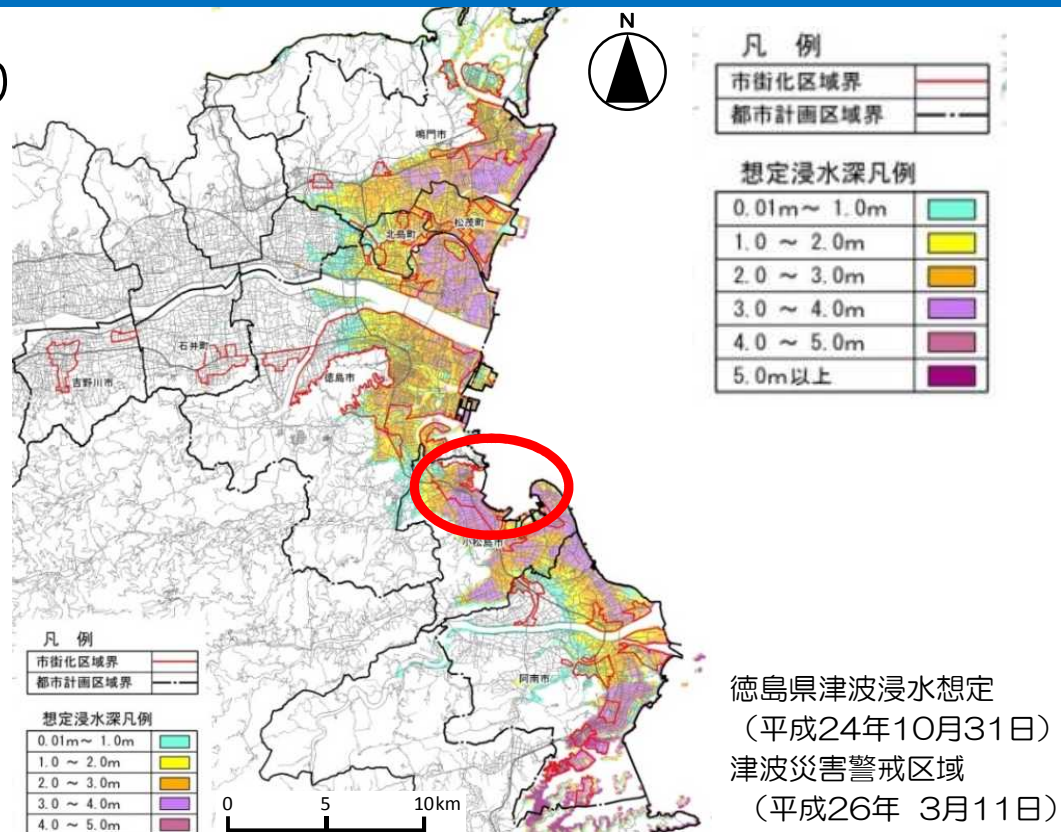
環境面	利用面
保全	促進
配慮	配慮
維持	維持



海岸タイプ
環境重視
環境調和
利用促進
防護重視

# 徳島県の津波浸水想定現状

- ◆ 徳島県では、災害に強い社会づくりを進めるため、南海トラフ巨大地震等による津波災害警戒区域（イエローゾーン）を指定（H26.3月）
- ◆ 徳島東部都市計画区域は、市街化区域面積の74%が、このイエローゾーンに含まれる。

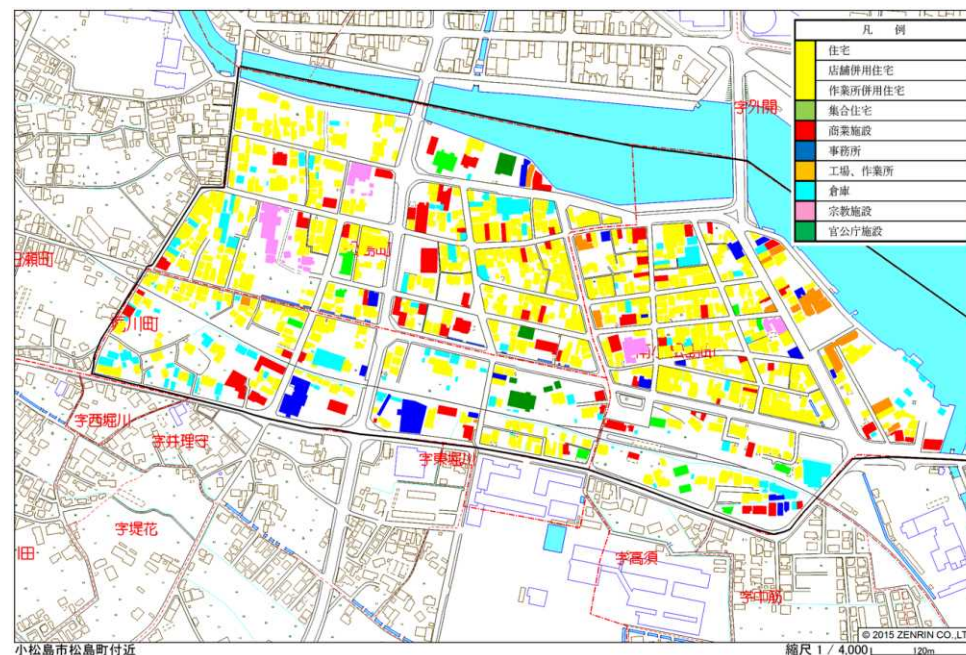
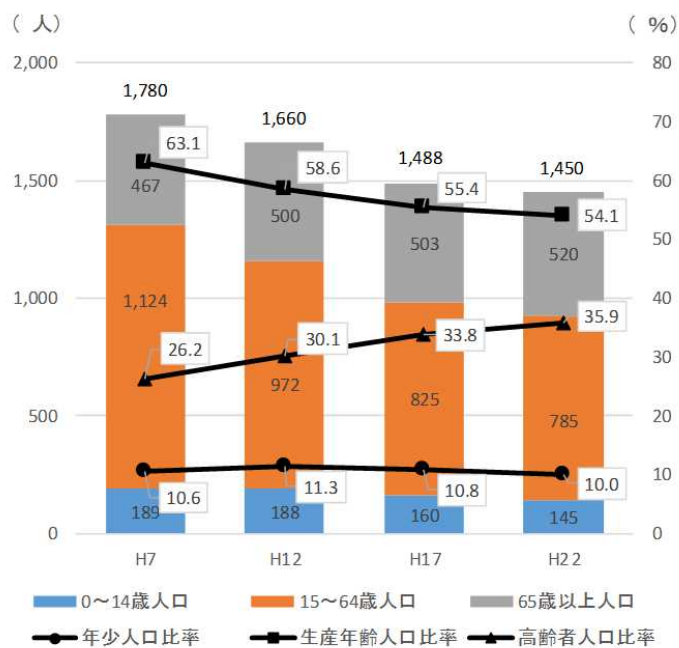
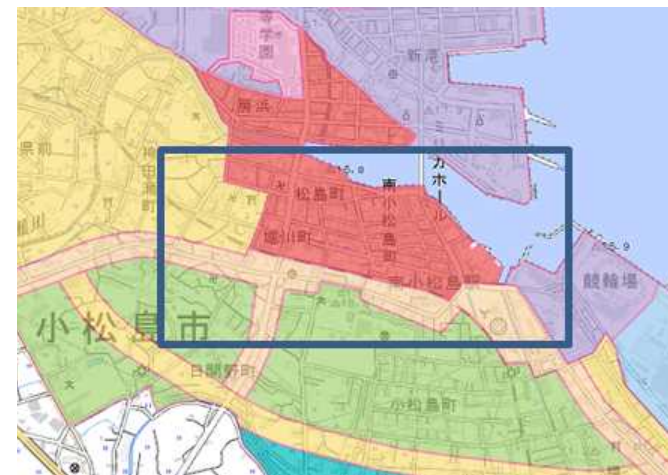


	行政面積 (公表値)	津波災害 警戒区域 (公表値)	行政区域 内の都市 計画区域	都市計画区域面積			市街化区域面積			市街化調整区域面積		
				(公表値)	津波災害警戒区域※ (計測値)		(公表値)	津波災害警戒区域※ (計測値)		(公表値)	津波災害警戒区域※ (計測値)	
徳島東部 都市計画区域				52,862 ha	17,519 ha	33%	8,797 ha	6,500 ha	74%	44,065 ha	11,019 ha	25%
徳島市	191.3km <sup>2</sup>	57.5km <sup>2</sup>	全域	19,169 ha	5,219 ha	27%	3,905 ha	2,864 ha	73%	15,264 ha	2,356 ha	15%
鳴門市	135.7km <sup>2</sup>	35.3km <sup>2</sup>	一部	10,495 ha	3,462 ha	33%	1,338 ha	992 ha	74%	9,157 ha	2,470 ha	27%
小松島市	45.4km <sup>2</sup>	28.8km <sup>2</sup>	全域	4,530 ha	2,824 ha	62%	905 ha	825 ha	91%	3,625 ha	1,999 ha	55%
阿南市	279.6km <sup>2</sup>	45.0km <sup>2</sup>	一部	10,138 ha	4,091 ha	40%	1,301 ha	1,073 ha	82%	8,837 ha	3,018 ha	34%
吉野川市	144.1km <sup>2</sup>		一部	3,376 ha			310 ha			3,066 ha		
石井町	28.9km <sup>2</sup>		全域	2,883 ha			276 ha			2,607 ha		
松茂町	14.2km <sup>2</sup>	11.4km <sup>2</sup>	全域	1,394 ha	1,141 ha	82%	330 ha	320 ha	97%	1,064 ha	820 ha	77%
北島町	8.7km <sup>2</sup>	8.0km <sup>2</sup>	全域	877 ha	782 ha	89%	432 ha	425 ha	98%	445 ha	357 ha	80%

注) 津波災害警戒区域面積※は、GIS上の計測値であるため、公表値と一致しない。

# 対象地区（徳島県小松島市）の市街地状況

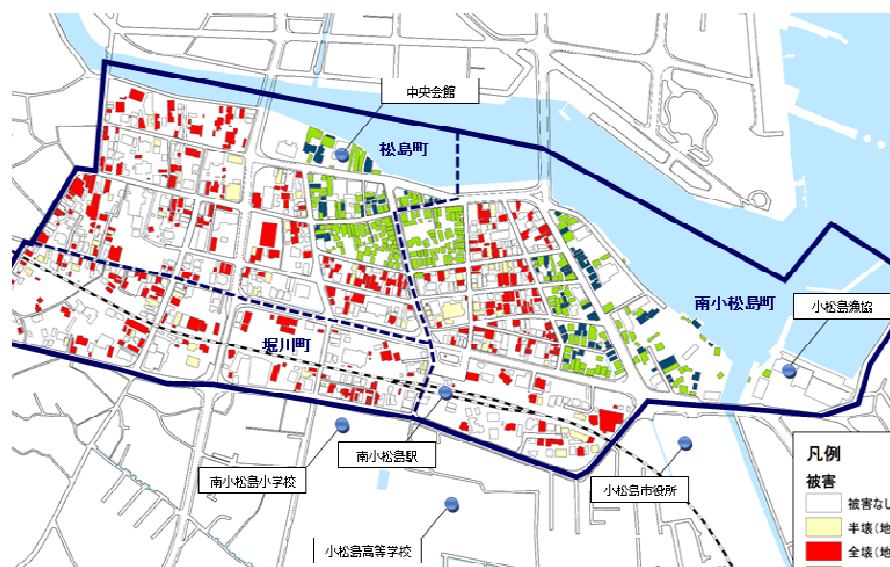
- ◆ 地区面積：約30ha
- ◆ 人口は減少傾向、高齢化率は35.9%
- ◆ 用途地域：主に商業地域
- ◆ 建築：住宅（店舗・作業所併用含む）がほとんど  
約7割が木造、約3割が旧耐震基準



## 2 パターンの津波被害想定

### パターン①

- 津波規模は中規模  
東南海・南海地震津波  
ハザードマップ (H17.3)  
浸水深1~2mで建物半壊
- 地震被害は  
徳島県南海トラフ巨大地震被害想定  
全壊41%、半壊9%



### パターン②

- 津波規模は大規模 (L2クラス)  
小松島市津波ハザードマップ  
(H26.2)  
津波により、  
海側エリア建物全壊  
陸側エリア建物半壊
- 地震被害はパターン①と同じ



# トレーニングの流れ（市街地→生活）

- まず市街地復興シナリオを検討し、考えられる復興パターンを検討した後、生活再建シナリオを検討

【第1部】市街地復興シナリオの作成

【第2部】生活再建シナリオの作成

【第3部】生活再建シナリオを考慮した市街地復興シナリオの作成

発表・分析

- ・津波のような広域的な災害
- ・市街地の復興方針が最初に示されていた方が、生活再建を検討しやすくなる。
- ・被災者が復興方針に一定程度即して考えることができる。

# 復興シナリオの検討課題 (出された意見)

- ・ 現地再建・移転の住民意向の把握
- ・ 市街地のかさ上げのあり方 (水没を繰り返すのか?)
- ・ 空き地の活用
- ・ 高齢者への支援のあり方
- ・ 産業・商業の継続や復興

## パターン②



## パターン①



- ・ 沿岸部の復興方針、合意形成のあり方
- ・ 仮設住宅用地の確保
- ・ 行政の拠点のあり方
- ・ 財源の確保

## 成果と課題（アンケート結果）

### ◆ 成果

- イメトレの重要性の把握
  - ・ 約9割「とても重要、やや重要」
  - ・ 約9割「今後も実施したい」
- 復興に向けての課題・困難さの把握
- 復興に向けて、平時より取り組むべきことの把握

### ◆ 課題

- 短時間での検討や議論となるため、理解を深めるための実施手法のさらなる工夫が必要
  - ・ 約3割「時間が短い」
  - ・ 約7割「まあまあ理解できた」
- 復興後に実現できる「安全性の水準」に関する議論を深める必要
- 人口減少、高齢化等のトレンドを変える「アイデア・発想」が必要

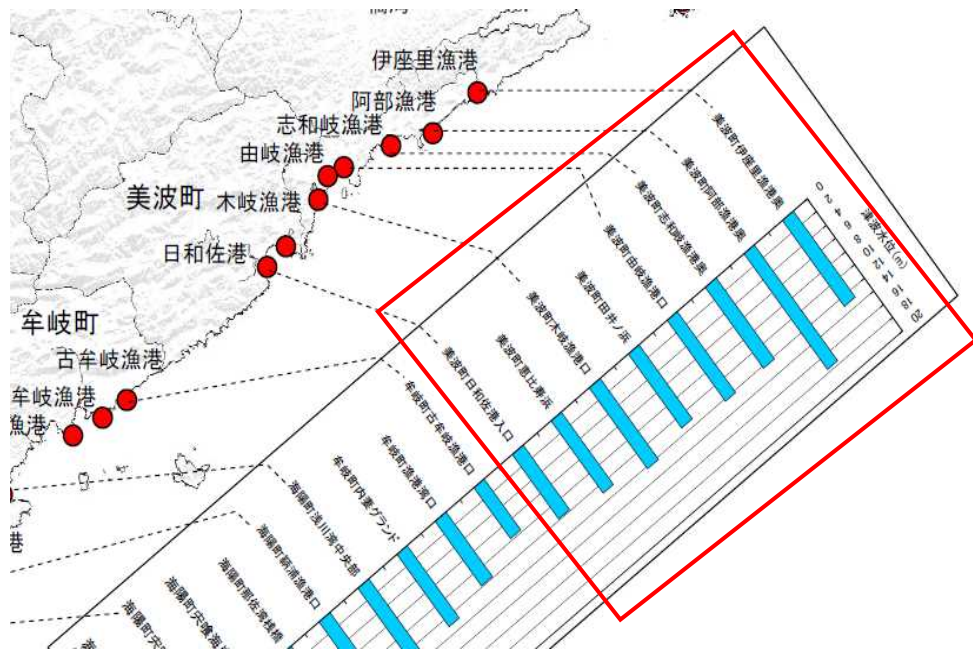
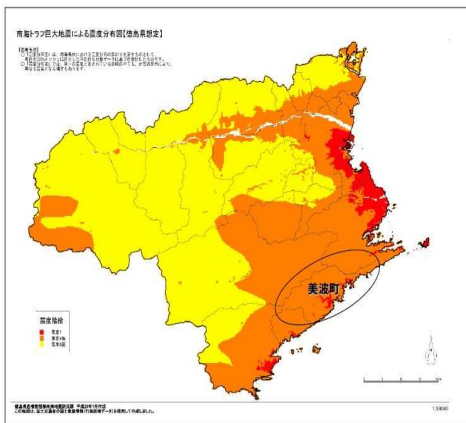
3. 徳島県における事前復興計画について (2) 美波町高台整備(公共施設)事業

# 美波町の被害想定

徳島県が公表した「徳島県南海トラフ巨大地震被害想定(第二次)」(2013年11月25日)をもとに、被害想定を整理する。

## 想定される震度・津波高

徳島県津波浸水想定では、本町は、震度6強(海岸部にて震度7)の揺れが生じ、最大津波高さは20.9mが想定されています。



【美波町被害想定】季節時間：冬深夜

分類		被害想定
建物の被害	全建物数	4,087 棟
	全壊棟数・焼失棟数	3,300 棟
	液状化	* 棟
	揺れ	2,000 棟
	急傾斜	* 棟
	津波	1,200 棟
	火災	* 棟
	半壊棟数	530 棟
	液状化	30 棟
	揺れ	380 棟
急傾斜	* 棟	
津波	110 棟	
人的被害	人口	7,765 人
	死者数	2,400 人
	建物倒壊	130 人
	津波(津波影響人口:5,700人)	2,300 人
	うち自力脱出困難者数	(250) 人
	急傾斜	* 人
	火災	* 人
	ブロック塀等	0 人
	負傷者数	580 人
	建物倒壊	410 人
津波(津波影響人口:5,700人)	160 人	
急傾斜	* 人	
火災	* 人	
ブロック塀等	0 人	
負傷者のうち重傷者数	(250) 人	
建物倒壊	(200) 人	
津波	(60) 人	
急傾斜	(*) 人	
火災	(*) 人	
ブロック塀等	(0) 人	
ライフライン	人口	7,100 人
	断水率	直後 99 % 1日後 94 % 1週間後 76 % 1ヶ月後 40 %
	断水人口	直後 7,000 人 1日後 6,600 人 1週間後 5,400 人 1ヶ月後 2,800 人
	津波全壊人口	2,100 人
	被害件数	一件
	復旧日数	一日
	処理人口	1,200 人
	支障率	直後 40 % 1日後 40 % 1週間後 40 % 1ヶ月後 0 %
	支障人口	直後 480 人 1日後 480 人 1週間後 480 人 1ヶ月後 0 人
	津波全壊人口	350 人
電灯軒数	5,300 軒	
停電率	直後 100 % 1日後 82 %	
停電人口	直後 5,300 軒 1日後 4,300 軒	
津波全壊相当電灯軒数	1,600 軒	
回線数	2,800 回線	
不通率	直後 100 % 1日後 100 %	
不通人口	直後 2,800 回線 1日後 2,800 回線	
津波全壊相当回線数	840 回線	
全避難者(1日後)	4,600 人	
避難所避難者	3,000 人	
避難所外避難者	1,600 人	
全避難者(1週間後)	4,900 人	
避難所避難者	3,100 人	
避難所外避難者	1,700 人	
全避難者(1ヶ月後)	4,800 人	
避難所避難者	1,400 人	
避難所外避難者	3,400 人	
帰宅困難者	370~610 人	
被災者時数	1日後 一人 1週間後 一人 1ヶ月後 3,100 人	
医療機関	要転院患者数 20 人 医療受療過不足数 一人 日常受療困難者数 一人	
その他	災害廃棄物等の発生量 41~59 万t 災害廃棄物 26 万t 津波堆積物 15~33 万t 孤立する集落数 21 箇所	

出典：徳島県、「徳島県南海トラフ巨大地震被害想定(第二次)」, 2013. 11. 25



# 防災対策の整備状況 (1)

## 2-1. 津波避難道・場所の確保

### 津波避難道の確保



地域で考える避難道整備

### 津波避難場所の確保



避難集合場所整備



津波避難タワー

### 二次避難所の確保



### 応急仮設住宅予定地の確保



# 防災対策の整備状況 (2)

## 2-2. 避難経路の確保



老朽住宅解体費支援事業



空き家等改修事業(戎邸)

## 2-5. 多様な高台整備の整備検討



美波病院高台移転



美波町医療保健センター整備

## 2-3. 避難時間の確保・減災対策



日和佐港L1防潮堤改良事業

## 2-4. 速やかな復旧復興の実現



山間部設置する防災拠点整備



阿部地区ヘリポート整備

## 2-6. 事前復興まちづくりに関する検討

### 美波町の事前復興まちづくりに関する住民意向調査

※以下の質問には、今年のある日に、現在想定されている最大クラスの南海トラフの巨大地震が発生した場合を想像してお答えください。

アンケートを開始する前に、開始時刻を記入してください。( 時 分)  
※アンケートに要した時間と結果の分析に使用。

### ■ 1次避難(災害から一時的に命を守る)に関する事項について

問1 あなたの自宅では、地震に対する備えをしていますか？(いくつでも)

1. 家具の耐震性を確保している(家屋内で死傷しないため)
2. 家具類の転倒・落下の防止をしている(家具類で死傷しないため)
3. 家屋内で安全な避難経路を確保している(家屋の外に避難するため)
4. 非常用持ち出し袋を家屋内で用意したり、事前に高台に移動したりしている
5. 特に何もしていない
6. その他( )

問2 地震の揺れが収まった後、一時的に命を守るために避難場所に避難しますか？(ひとつだけ)  
なお、「1. 避難する」を選んだ場合は、候補場所についても記入をお願いします。

1. 避難する ⇒ 候補場所(複数可)
2. 避難したいが、家族(ご自身も含む)の中で避難することが困難な者がいて避難できない
3. 避難したいが、自宅の周囲に安全な避難場所がない
4. あきらめているので避難しない
5. 自宅が安全だと思うので避難しない
6. その他( )

※避難場所の候補については、別紙の指定緊急避難場所一覧を参考にしてください。

問3 地震や津波等から避難する際、心配なことはありますか？(いくつでも)

1. 特に心配はない
2. 補助、または、支援が必要な家族(ご自身も含む)がいて、避難に手間取ること
3. 近所に支援者(避難の際に支援してくれる方)がいないこと
4. 近所の要支援者(避難の際に支援が必要な方)をどこまで支援できるかわからないこと
5. 避難場所が遠いこと(徒歩の途端までに避難できるか心配)
6. 避難経路がふさがりやすいこと(建物やブロック塀などの倒壊が心配)
7. 避難経路が汚い、または、こう配がきついこと
8. 避難経路が暗い(夜間の照明などの不足)
9. 心配はあるが、具体的にわからない
10. その他( )



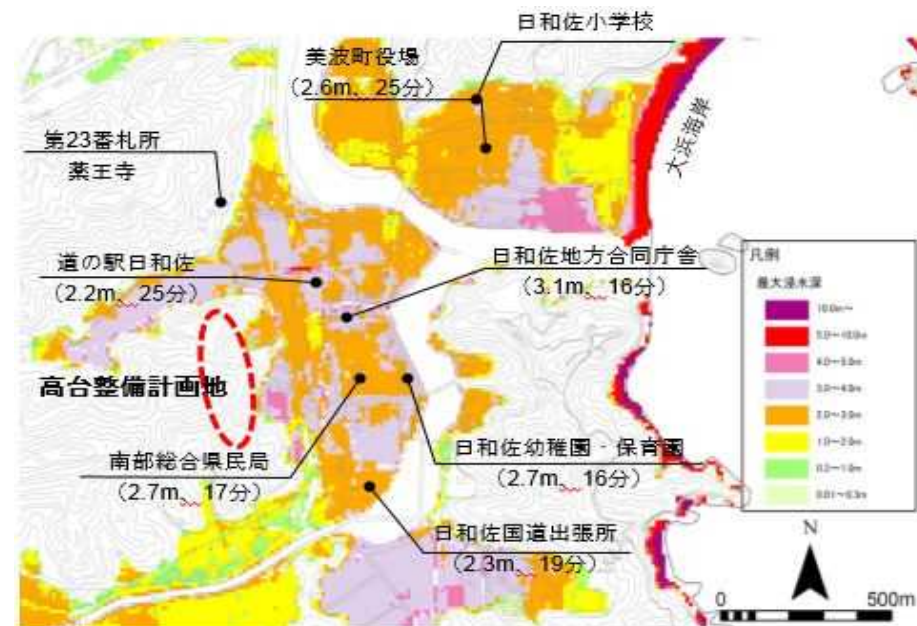
地区別懇談会

# 日和佐地区高台整備の目的

- ▶ 南海トラフの巨大地震によって甚大なる被害が想定されている本町においては、人命を守ることを第一に、緊急指定避難場所や避難路の整備、四国地方整備局や徳島県、学識経験者等との協働による災害に強いまちづくりの検討など、様々な防災対策を進めてきました。
- ▶ しかしながら、災害時の活動の拠点となるべき公共施設(町・国・県の施設)、日和佐こども園といった要配慮者施設をはじめ、多くの住民の生活の場が津波浸水想定区域となっています。
- ▶ このような厳しい状況を踏まえ、南海トラフの巨大地震への備えとして、安全・安心・持続可能なまちづくりに向け、高台整備を行うものである。



四国地方整備局による  
災害に強いまちづくり計画の検討資料



# 上位計画における高台整備の位置づけ

## 第2次 美波町総合計画

(平成26年3月)

### 【重点プロジェクト】

- ①産業振興のまちづくり
- ②安全・安心のまちづくり
- ③未来を創るまちづくり
- ④持続可能なまちづくり



### 【高台整備の位置づけ】

総合計画では、7の政策と33の施策が示されており、高台整備の検討を進めていくことを位置付けています。

#### ■政策:安全で安心して暮らせるまちをつくります

施策:1-1 地震・津波減災対策の推進

(4)地震・津波に強い公共施設の整備

**地域の合意形成を図りながら、限られた環境の中で公共施設等の高台への移設などを検討するとともに、安全に避難できる避難路・避難場所や避難体制の構築に努めます。**

## 美波町国土強靱化地域計画

(平成28年8月)

### 【基本目標】

- ①人命の保護が最大限図られる
- ②町及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される
- ③町民の財産及び公共施設に係る被害の最小化が図られる
- ④迅速な復旧・復興が図られる

### 【高台整備の位置づけ】

上記、基本目標すべてに高台整備を進めていくことを位置付けています。

## 美波町都市計画マスタープラン

(平成26年3月)

### 【重点プロジェクト】

- ①安全・安心の実現による住みよいまちの創造
- ②人口定着プロジェクト
- ③交流拡大プロジェクト

**①安全・安心の実現による住みよいまちの創造**  
ゼロをめざす!

南海トラフの巨大地震をはじめとした、様々な災害からの人的被害“0”をめざすために、多様な防災・減災対策を推進します。

**②人口定着プロジェクト**  
マイナスからプラスへ!

大幅な人口増加が困難な状況のなか、人口の社会減から社会増への転換をめざし、若者の流出防止や多様な受入施策等を推進します。

**③交流拡大プロジェクト**  
プラスから更なるプラスへ!

豊かな自然や多様な地域資源、個性溢れる伝統文化等を活かしつつ、地域内外の道路・交通ネットワークの強化を図り、観光・交流人口の拡大をめざします。

重点プロジェクト「①安全・安心の実現による住みよいまちの創造」の具体的施策において、「公共施設の高台移転等の検討が位置付けられています。」

## 美波ふるさと創造戦略

(平成27年10月)

### 【基本目標】

- ①みなみへの人の流れづくり
- ②みなみの資源を活かした仕事づくり
- ③みなみの子育て環境づくり
- ④みなみの人がつくる、個性ある住みよい地域づくり

### 【高台整備の位置づけ】

基本目標④に日和佐地区の高台整備事業を進めていくことを位置付けています。

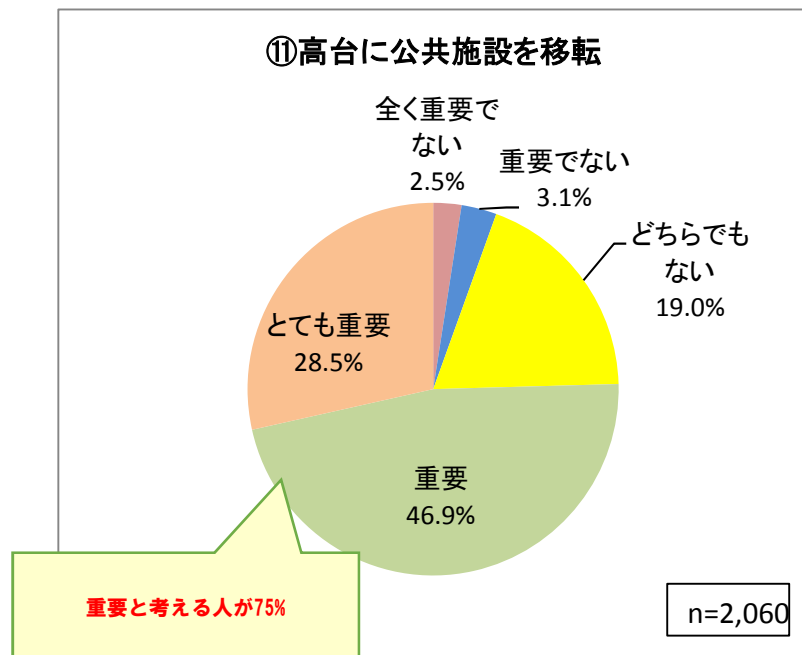
# 美波町の事前復興まちづくりに関する住民意向調査

## 調査の概要

- (1) 調査対象：美波町の全世帯
- (2) 調査方法：自主防災会等を通じた配布・回収
- (3) 調査時期：平成26年11月
- (4) 配布数：約2,905戸
- (5) 有効回収数：2,391票（回収率 約81%）

## 高台への公共施設移転の重要度

「高台に公共施設を移転させること」について重要だと考える人（「とても重要」と「重要」の合計）は75%



## 高台整備に関する意見(自由意見)

### ■幼稚園・保育所等の早期移転

- ・高台を開発する必要があります。特に小学・中学・保育所等急ぐ必要があります。
- ・幼稚園と保育園をとにかく早く高台に移転してください。なぜ早く移転しないのかまったく意味がわかりません。子どもの命が1番大事だと思います。早く！早く！！移転してください。

### ■高台整備等への要望

- ・高台に集合住宅を建て、高齢者・一人暮らしの方を住ませ、公共施設を充実させる。

### ■高台整備等への懸念

- ・高台に移転するにも急峻な地形のため高台にする地形が少ないし、台風などで風が強いのでそちらの被害も心配される

### ■高台移転の取組への意見

- ・高台移転は実現できれば最良の方法のひとつだと思うが…。今はまだ高台移転より避難路の整備、避難所の増設の方が先ではないかと思う。
- ・町を高台へとか、できない(みんなが無理)ことを行政がしたら、金銭的に無理な家庭はどうするんですか？行政は税金で動けるけど、個人は簡単にはい、そうですかとはいかない。
- ・高台移転を検討していることが11月5日の徳島新聞に記載されていましたが、整備費が高額になり、町民として反対である。(自宅は津波被害あり)造成は慎重に考えて頂きたい。

## 年代別公共施設移転の重要度

子育て世代の30歳代では、重要だと認識している比率は8割以上となっています。

# 日和佐こども園の高台移転に関するアンケート

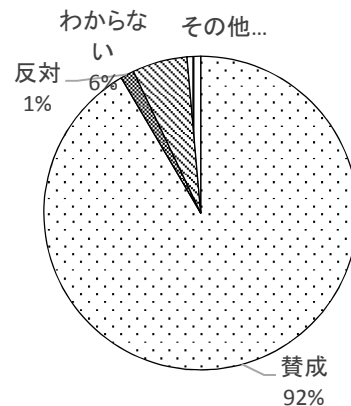
## 調査の概要

- (1) 調査対象：日和佐こども園保護者、未就園児保護者
- (2) 調査時期：平成27年12月
- (3) 配布数：103世帯
- (4) 回答率：71世帯（回答率 約69%）

## 調査結果抜粋

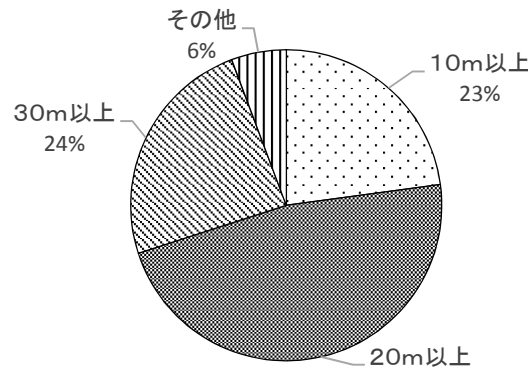
➤現在の日和佐こども園は、最大4mの津波による浸水が予想されることから、高台移転が検討されています。このことについて、どのように考えますか。

賛成	65
反対	1
わからない	4
その他	1
合計	71



➤高台に移転する場合、道の駅日和佐周辺の地盤から何m以上の高さなら安心できますか。

10m以上	16
20m以上	33
30m以上	17
その他	4
合計	71



## 自由意見抜粋

### ■日和佐こども園の早期移転

- ・早く移転してほしいです。7年後のオリンピックの建設の方が早いのはおかしいと思う、1日でも早く決めて子供の命のために動かしてほしい。
- ・来年から預ける予定です。ですが、津波の事が心配で預けるのを少しためらっています。でも仕事をしなければという状況です。いくら保育士の方が頑張って避難のために行動してくれても0才児や1才児の子を全員無事に避難させるのは今の場所では厳しいような気がします。
- ・震災から早5年経ち、日和佐こども園は耐震基準も満たしていない。対応の遅い町政に未来の子供と現在通う子供のことを考えているのか不安になります。

### ■高台整備等への要望

- ・高台に移転したら安全と考えますが、さらに高い津波がこないとも限りません。さらに高い位置に避難できるようにしてあると良いと思います。
- ・将来的に児童館を併設していただけると安心かと思えます。今後とも、アンケート等で保護者の意見を聞く場を設けてください。自然豊かな美波町なので、充分自然にふれる場を残してみてもはどうでしょうか？

### ■高台整備等への懸念

- ・子供たちだけが町から離され山の上は寂しい気がします。毎日の送迎、徒歩自転車の方は、1回の津波のため、1日2回山登りをします。園外保育や各行事、不便なことだらけです。子供からするとサルはクマみたいなものです。サル・シカ・イノシシ対策はどうなりますか。